



地域に支えられて

本校では、様々な場面で地域の方にご協力いただき、教育諸活動を進めています。

生活科では、二年生が夏野菜やサツマイモを育てていますが、苗の植え方や育て方についてのお話だけでなく、学校の畑の管理も地域の「野菜名人」にお世話になっています。

そのお陰で、七月から夏休みにかけては、おいしいキュウリやナス、オクラなどがたくさん採れました。また、二期期に行ったサツマイモの収穫も、当日までにいろいろ下準備をしていただき、子どもたちは、楽しくも掘りの体験をすることができました。

総合的な学習では、一学期に「木遣り保存会」の方に、五年生が木遣りを聴かせていただきました。木遣りについてのお話をうかがったり、実際に棒振りを体験させていただいたりし、郷土の伝統文化に触れることができました。ふだんあまり目にするのではない保存会の方の衣装を身に付けていただいた子もいて、大満足の子どもたちでした。

二期期には、「神楽保存会」の方に、三年生が神楽を体験させていただきました。地域のお祭りで笛や太鼓の音を聞いたことがあっても、実際に演奏するのは初めての子どもがほとんどです。特に、音楽の授業で慣れ親しんでいるリコーダーとは違う横笛は、構える姿勢

from 豊山小学校

から難しく、音がちゃんと出るのか、わくわくドキドキの貴重な体験となりました。三年生は、この十二月にも「まちおこしの会」の方にご来校いただき、郷土料理のどじょう寿司を味わう予定で、今から楽しみにしています。

地域の方にお世話になっているのは、これだけではありません。二期期にも、「名北水青会」の方に六年生が魚のさばき方を、「尾張豊山太鼓」の方に四年生が和太鼓を教えていただく予定です。また、一年を通して、朝学習の時間に読み聞かせをしていただいたり、登下校の見守りをいただいたり、本当にお世話になっています。

地域の皆様、いつも本当にありがとうございます。皆様を支えられて子どもたちは大きく育っています。どうぞこれからも子どもたちのために、ご協力をよろしくお願ひします。



私の航空史

岡野允俊

十二月八日

十二月八日は、太平洋戦争が始まった日である。私の文書の日付は一月十五日、八月十五日、十二月八日といった日付が多い。たいした意味はない。中途半端な意味のない日より、私にとって多少なりとも意味がある方がよいと思っ

てやっているだけのことである。さて、七十七年前の十二月八日、私は中学一年生であった。この日、ラジオの軍艦マーチが目覚めた。朝の臨時ニュースで（帝国

陸海軍は、本八日未明、西太平洋において米英と戦闘状態に入れり）という大本営発表が繰り返しば報道されていた。通勤電車の中では大人たちが「とうとうやりましたな」と興奮

が、そんな悲観的なことは人前ではとても言えず、大多数の日本人が（米英何するものぞ）と大見得をきっていた。

この日、朝から晩まで軍艦マーチが鳴り放しであった。米英に宣戦布告をしたのだからもう勝つしかないのだと国民を煽り立てたのである。アメリカは合衆国だから「烏合の衆」である。団結心はないのですぐ手を上げる。アメリカは米国と書く。日本人は米を食べるからアメリカなどすぐ食われてしまふヨ。といった自嘲的な自己満足で得意になっていた。私自身（そうか、戦争が始まったか、日本は負けるはずはない）とそれほど深刻には受け止めていなかった。

しかし、子ども心にも何かピリツとする緊張感があった。この日、零戦を設計した堀越二郎技師は名航・本館（時計台の建物）の屋上で港の方を見つめながら、自分が設計した飛行機が真珠湾で大戦果を挙げたというニュースを聞きながら複雑な気持ちでこうつぶやいたという。「素人の力士が横綱に挑んだようなものだナ」と。